

# 政務活動報告書

議員名 土田百合子

実施した政務活動の内容	<input type="checkbox"/> 研修 <input checked="" type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和1年5月26日(日) 午前 時 分～・午後 時 令和1年5月27日(月) 午前10時30分～・午後3時	
場所	埼玉県戸田市役所本庁舎・戸田市新曽南庁舎	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他( )	
同行者名	無	
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	JR 宿泊パック 横手～埼玉	35,420
	タクシー代	2,550
		経費合計 37,970

<p>実 施 概 要 と 所 感</p>	<p><b>【概要】 子ども家庭課</b></p> <p>○調査事項「産前産後支援」ヘルプサービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代包括支援センターの取り組みについて</li> </ul> <p>妊娠から出産後1年未満の妊産婦に対してヘルパーを派遣し、育児による精神的・身体的負担の軽減を図り、子育てを支援するためのサービスの取り組みや妊娠中や産後の心配事、赤ちゃんから就学までの健康、子育ての悩みなどに、母子保健コーディネーターが相談に応じている包括支援センターの取り組みを伺いたい。</p> <p>移動：戸田市新曽南庁舎</p> <p>○調査事項「AI 総合案内サービス」について</p> <p>少子高齢化や、人手不足によりAI（人工知能）を用いた行政全般の問い合わせに対し、24時間応じる「AI 総合案内サービス」を全国に先駆けて取り組んでいることから調査し政策提案したい。</p> <p><b>【所感】</b>戸田市「産前産後支援、子育て包括支援」の取組みについては、妊娠、出産、産後の過程において、さまざまな側面から母親を支援するサービスの相談体制や、周産期の身体の負担軽減のケアサービス・家事、育児などのサポート体制等が充実している。「子育て包括支援センター設置」については、これまでも訴えて来たが、令和1年3月定例議会での一般質問の答弁では「令和2年度より実施する」との答弁を頂き今年度4月より、「子育て応援窓口」としてスタートすることになった。戸田市の取り組みを調査し、自信をもって訴えることが出来た。これからも、子育ての切れ目のないサポート体制を提案していきたい。</p> <p>○戸田市の「AI 総合案内サービス」については、少子高齢化や、働き方の多様化により、いつでもどこでも、必要に応じてスマホやタブレットから情報収集することができれば市民の利便性や、職員の負担軽減につながると思い視察した。令和1年6月定例議会で一般質問。答弁では「効果を認め期待するが、引き続きサービス品質と利用者ニーズを注視しながら検討を進める。」であった。市民は、市役所に出向かずに知りたい情報を入手できることから、これからも、一般質問等で訴えていきたい。</p>
----------------------	--

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2（往復）でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

# 政務活動報告書

議員名 土田百合子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実 施 日	令和2年1月13日(月) 午前 時・午後 ～ 令和2年1月14日(火) 午前10時・午後5時	
場 所	東京都参議院会館	
主 催 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他( )	
同 行 者 名	無	
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経 費 (単位:円)
	JR 宿泊パック横手～東京	39,400
	参加費	5,000
		経費合計 44,400
実施概要と所感	<p>【概要】女性議員パワーアップ集中講座 講座1、海外につながる子どもの支援 2、母子世帯の居住貧困 3、居住支援の現場から</p> <p>全国公立学校では、日本語指導が必要な児童生徒が増えており、特別な日本語指導を受けている小中学校生徒は6割未満である。授業以外の日常の生活支援、保護者への連絡や通知に関する配慮、高校進学を目指した学習支援など、文部科学省が昨年5月に行った全国調査をもとに講師、文部科学省男女共同参画共生社会学習・安全課担当者の講義を受けることができた。</p> <p>【所感】当市の現状については、平成31年度、横手市立小学校</p>	

	3名、中学校2名の児童生徒5名が在籍し、担当の教師1名が対応している。2名とも優秀な成績で高等学校に進学している。家庭の経済状況についても問題はないとのことであるが、講義を受けて現状を把握することができた。令和2年3月定例議会、総務文教常任委員会では、外国籍の子どもたちの教育環境の状況を質することができた。これからも調査活動を継続し、問題意識を持って取り組んでいきたい。
--	--

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2（往復）でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。